

社会福祉法人 十字の園

ふとうの木

(ヨハネ福音書 15 章)

発行：(社福) 十字の園本部事務局
理事長 森本節夫
〒431-1304
住所：静岡県引佐郡細江町中川7220-11
☎ <053> 439-9100 FAX 437-1352

既に据えられている土台

— 21 世紀に引き継ぐ事柄 —

この標題の聖書の言葉は、過日「聖隷三方原地区」を主会場として開催された「日本キリスト教社会福祉事業同盟」理事長研修会の最後の閉会礼拝において読まれた聖書の箇所(コリント書)の 1 節であります。詳しくは「イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることが出来ません」(コリント書) 1 節を、法人事業として一大決意のもと「御殿場十字の園全面改築」(土地取得を含む総事業費約 17 億円) 又、浜松十字の園では、「在宅サービス棟の増築工事」(総事業費約 1 億 4 千万円) を同時並行で進めています。いずれの事業も既に据えられている「土台」を基礎に工事が進められているのです。どのような土台にするか、わが法人においては既に選択の余地は無いのです。

上記研修会で短い時間でありましたが、十字の園の施設紹介をさせて頂き、3 点の法人としての特色を申し上げました。第 1 点、法人の設立にドイツ人ディアコニッセのハニ・ウォル(1914 年 5 月 5 日～96 年 10 月 28 日 82 歳召天) がドイツにおいての募金活動と帰国後の法人と施設運営に深く関わり法人の伝統と、処遇理念の確立に影響を与えて下さいました。

『ディアコニッセの言葉』

私は何をしましょう。

わたしは仕えたいのです。

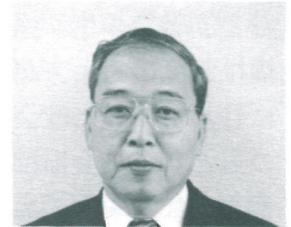
私は、だれに仕えようとするのでしょうか。

♪やると思えば どこまで♪

事務局長 平井 章

村田英雄の歌に♪や～ると思えば、どこまでやるさ～それが男の魂じゃないか…♪があります。さて、福祉に働く者の悩みは、「対象者とうどう関わったらいいのか、どこまでやればいいのか」があります。社会福祉士及び介護福祉士法が 1987 年に制定され、資格が有り、介護技術の理論を学んできた職員が増えました。昔は…と言うと、昨日まで近所の畑で野菜を作ってい

理事長 森本節夫



理事長

主に、悲しむ人と貧しい人に仕えて。

さらば、私の報酬は何かですか、

私は報酬のために、感謝を受けるために仕えません。感謝と愛から仕えるのです。

ではもしそれで死んでしまったら、「死ぬべき時には死にます」

主を知らないエステルでさえ言いました。

私は、主のために喜んで死にたい、

けれども主は私を死なしめません。

かくて年老いた時には、

私の心は棕櫚の緑のように若やぐでしょう。そして主は、恵と憐れみをもって飽かしめ給うでしょう。

わたしは安らかにいきます。

私には何の願いもありません。

W・レーウェ詩 西村一之訳

(W・レーウェ：ノイエンドテッテルザウ母の家創始者)

第 2 点、「十字の園」と言う名前。考え味あう中で、的確に法人の特色と「意志」を表す名前と理解いたします。第 3 点、法人に明確な実践聖句「夕暮れになっても光がある」が与えられていること。

21 世紀を迎えます、法人も改築、増築を機会として大きく飛躍すると考えます。

受け継ぐべき事柄、捨て去らなければならない事柄、十分に整理したいと考えます。

た人が、今日は高齢者の介護をしていたりしました。こういう私もセールスマンからの転職組です。福祉のマニュアルも介護のマニュアルもない時代は、何を、どこまでしたらいいのかただ目の前の人と関わりながら、失敗ばかりして福祉らしいことをしてきました。制度が整い、マニュアル化が進み、専門的になったことはいいことです。そんな中でも、「やればできる。やったらできた！」の気持ちも持ちたいです。すね。

これからの高齢者福祉のあり方

浜松十字の園 園長 平 井 章

「社会福祉基礎構造改革（中間まとめ）」を読むと、戦後の生活保護法の始まった日本の社会福祉制度の考え方が一変します。「措置」制度に甘んじてきた社会福祉事業が、「契約」概念のもとに、社会福祉法人に主体性を求められるようになります。高齢者福祉への波は、介護保険制度の導入に表れています。特別養護老人ホームには、在宅福祉事業を含めた総合福祉を展開する拠点の役割を持つこととなります。浜松十字の園で平成10年度に施設整備を行うことは、

この意味からも大切なことです。「利用者が施設を選び評価する」「利用者がサービスを選び評価する」となると、施設の質、サービスの質、職員の質が問われることとなります。

増築工事が始まりました ⇨ 総合福祉施設としての受け皿が整います。介護保険制度の勉強を始めました・施設見学研修をしています・ケアプラン作成の実習をしています ⇨ サービスの質と職員の質の向上につながります。施設にとっての基礎構造改革に着手しています。

施設整備の概要

内容 ショートステイ16床の増床
デイサービスE型の創設
ヘルパーステーションの設置
地域交流室（県単独事業）
規模 鉄骨耐火平屋建 660.74 m²
設計 (株)中川猛一級建築士事務所
施工 株式会社 和久田組

■ 歳入歳出予算書 ■ (単位：円)

収入の部		支出の部	
国県補助金	64,510,000円	施設整備費	161,175,000円
県単補助金	13,556,000円	建築工事費	152,250,000円
細江町補助金	24,344,000円	工事事務費	8,925,000円
自己財源	72,900,000円	備品整備費	14,135,000円
事業団借入金	30,000,000円	ショート備品	8,920,000円
県社協借入金	20,000,000円	デイ備品	4,815,000円
本部会計繰入	22,900,000円	交流室備品	500,000円
合計	175,310,000円	合計	175,310,000円

高齡者福祉新時代への希望

「ぶどうの木」創刊号が配布され、一読して大変感銘を受けましたので一筆いたします。初夏から夏にかけて出された「アドナイ刊」に、福祉のビックバン、メガコンペティションの論があり、福祉新時代の到来かと驚きをもって読みました。このたびの「ぶどうの木」創刊はこうした時代への法人十字の園の高齡者福祉への創立以来の変わらぬ精神の輝きを表し、社会へ問うものと感じました。

記事の中で最も興味深かった箇所は決算報告でした。現今、多くの企業で赤字決算が新聞を賑わし経済問題が私たちの生活に直接影響を及ぼしてきている時、自らの大家さんの懐具合は

他人事ではありません。森本理事長は巻頭言の中で大変重要なことを述べておられます。それは、法人創立の精神の継続と、情報の共有と公開への強い意向の表明です。これは、「家はこうなっていますからどうぞ安心して福祉を受けてください」と福祉を望む人々の願いに真っ正面から答えるということだと思います。

「ぶどうの木」創刊号は、福祉新時代の到来にふさわしい決意と内容に満ちていて、住まいする私たちにも希望と勇気を与えるものでした。次号以降に大いに期待いたします。

アドナイ館入居者 斎藤 一彦

(福) 十字の園豆知識

法人理事会

今号は社会福祉法人として必ず置かなければならない役員である、理事及び理事会についてお知らせしたいと思います。

「理事」

理事は法人内部の事務を処理すると同時に、外部に向かって法人を代表する役員で、これは常置必須の機関（機関：ある組織の中であって特定の働き、活動を担う、主体性を持つ小組織）である。この選任方法等、これに関する事項は、定款に規定しなければならない。（事業法29）

「定数」

民法の公益法人は理事1人でも差し支えないが、社会福祉法人では運営が専断的になるのを防止するため、3人以上を置かなければならない。但し定款準則ではより厳格を期すために、理事の最低限は6人とされている。（法人9名）

「選任」

理事は社会福祉事業に熱意と理解を有し、かつ、実際に法人運営の職責を果たしうる者であること。

責任体制を明確にするため、理事の中から理事長を選出し、原則として理事長のみに代表権を与えること（当法人では2年任期ごとに理事長は選挙により選出）

（以上「社会福祉法人の手引」より引用）

「理事・理事会の任務（仕事）」

この法人の業務の決定は、理事をもって組織する理事会によって行う。但し日常の軽易な業務は理事長が専決し、これを理事会に報告する。（法人業務の決定具体例）

1. 予算、決算、基本財産処分、事業計画及び事業報告。
 2. 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄。
 3. 定款の変更
 4. 法人の合併、解散。
- その他、重要人事の決定、等・・・（法人定款）

サポーター (第2回)

浜松十字の園事務所



- 1 朝起きて最初にすること、思うことは？
- 2 一番楽しい時はどんなとき？
- 3 どのようなことを大切にしていますか？
- 4 好きな食べ物は？
- 5 生まれ変われるなら何になる？
- 6 誕生日にプレゼントしてもらいたい物は？

澤木 富子

- 1 感謝
- 2 水平になっているとき
- 3 Peace
- 4 桃・栗
- 5 内緒. ナイショ
- 6 にゅうろんとしなぶす

豊田くみ子

- 1 仕事のこと
- 2 食事のとき
- 3 笑顔
- 4 ナス以外ならなんでもOK
- 5 アンパンマン
- 6 ドコデモドア

清水 実

- 1 ため息
- 2 演歌を聞きながら茶碗酒
- 3 物事を悲観的に考える
- 4 毒物以外ならなんでも
- 5 深い海の底に住むバカ貝
- 6 トトロのぬいぐるみ

平井 章

- 1 今日は何をしようか
- 2 夢中になって一つのことに取り組むとき
- 3 顔と心にほほ笑みを
- 4 黒ハンペンの焼いたもの
- 5 生まれ変わらないの！死んでも生きてるから
- 6 心のこもったものであれば何でもいい

それぞれの地域で <施設往来>

<浜松十字の園> ~Y.K特派員

工事たけなわ。Hさんが窓から外の工事を眺めておられる。「映画を見てるようだよ。家の子ども現場に出ているもんでどうしてるかやぁー・・・」と工事機器の動きが楽しそう。隣ではこのドリル騒音の中やっぱり昼寝のOさん。職員はというと、ケアプランの勉強会・運動会のハッピーや小道具作りに懸命。《若者は幻を見、老人は夢をみる》敬老の日に書かれた聖句が目に飛び込んできた。

<御殿場十字の園> ~H.T特派員

改築工事は、先ず遊歩道側からの重量機械の進入路を造成します。そして、事務所前の倉庫・焼却炉を撤去、職員住宅4棟を解体し、職員専用駐車場を造成する予定です。又、内部では集会室・訓練室などが居室に造り替えられ、普通浴槽・特殊浴槽の改修も行われます。

尚、創刊号で心配しておりました金魚達は、元気に市内にある「国立青年の家」の池で泳いでおります。

<伊豆高原十字の園> ~K.A特派員

9月上旬に施設の玄関付近に雌の孔雀が現れました。恐らく伊豆シャボテン公園辺りから脱走(?)してきたのではないかと思います。近づいても逃げる気配もなく悠々と辺りを闊歩していました。

数日で姿が見えなくなりましたが、その様子を眺めているだけで何となくほのぼのとした気分になりました。いつきのゆとりを与えてくれた孔雀に感謝。

<アドナイ館> ~A.S特派員

ボイラーが故障して3日間お湯が出なかったこと、エアコンがたてつづけに故障したこと。今年のアドナイ館の残暑は、厳しかったです。「年とともに、故障が多くなるわねえ」と夏の疲れで体調を崩したお年寄り。建物も人も年を取りました。6年前には1個だった花梨が、たわわに実っています。名前を書いておかなくても手に入りそうです。

<本部事務局> ~M.O特派員

今年もスケジュールどおりに秋がやってきま

した。秋といえば、読書、スポーツ、行楽そして食欲の秋ですね。最近、特に食欲をそそるような宣伝広告が多く目につき、「何を食べようか」と、いろいろ悩む時期でもあります。

一方、事務局では、たくさん並べられた数字を見て、「さて、どうしようか」と、いろいろ悩んでいる最中です。

人事往来・喜び・悲しみ

<退職> †ごくろうさまでした†

☆浜松十字の園 7/31河原富貴子(介護士)

☆御殿場十字の園 9/30室伏千鶴(介護士)

☆伊豆高原十字の園 7/31宮岸孝一(施設長)

7/31宮岸 操(介護士)9/30田中裕美(介護士)

<結婚・ご出産> お幸せに! お健やかに!

☆浜松十字の園 9/7河出雅代(介護士)(長男)

<人事発令> 8月1日付け

青木克文(旧)伊豆高原十字の園次長

(新) " 施設長

御後援下さい!!

〒431-1304

静岡県引佐郡細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 森本節夫

銀行振替 普通 0015345

◆よてい(10月~12月)◆

10月 監事監査

日本キリスト教社会事業同盟(聖隷三方原地区)

11月 御殿場十字の園起工式。県指導監査

12月 十字の園大会(全体研修)

<あしがき>

今年も残すところ、わずか“3ヶ月”。

「あれもやらなくては」「これもやらなくては」と、そろそろ気が急ぐ頃となってきました。

私としては、毎日が“牛の歩み”ではなく、時には、“猿のようにすばやく”動くことも必要なのかも! 牛

機関紙に関するご意見や投稿をお待ちしております。

編集委員会